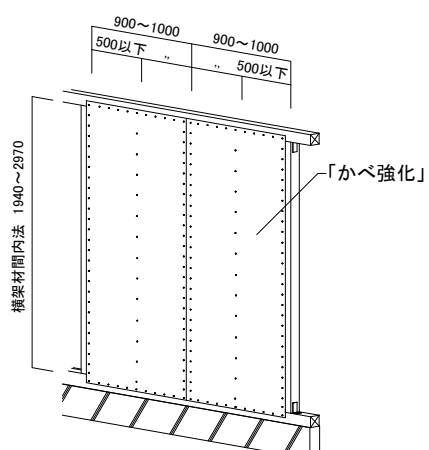
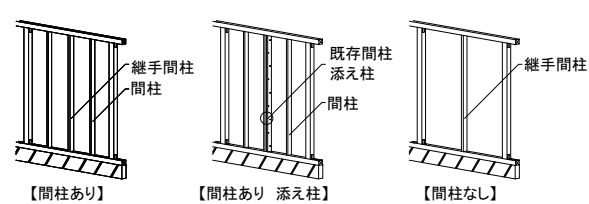


評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2028年3月31日	評価番号	W-015c														
評価技術名称 ニチハ耐震改修面材「あんしん」かべ強化					連絡先 ニチハ株式会社 お客様相談室 http://www.nichiha.co.jp 〒460-8610 名古屋市中区錦二丁目18番19号 電話 052-220-5125 Fax 052-220-5157																	
概要	技術概要 アクリル系樹脂塗装されたパルプけい酸質混入セメント板を用いて外装側の耐力面材として耐力を向上する工法。																					
	技術の特徴 ・ 既存外壁を撤去後、「かべ強化」を施工し、窯業系サイディング等で仕上げる耐震+外観リフォームに適している外壁下地材である。 ・ ガルバリウム鋼板によって補強した高倍率仕様を備えている。 ・ 大壁仕様、入隅仕様および開口仕様を備えており、土壁にも対応している。					コスト サンプル構面 45,262 円/kN 設計見積り例 —																
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 (一財)日本建築防災協会 評価番号 DPA-住技-46-2(更新) 評価書の有効期限 2026年12月19日					実験実施機関 ニチハ株式会社 その他 大臣認定準不燃材料 QM-0457																
仕様	適用範囲 構法 木造在来軸組工法 規模 3階建て以下 基礎、地盤 特になし 適用部位 外部壁 その他 高さ方向:横架材間内法寸法で1940~2970mmとする。				写真・図 施工例																	
	主要構成部材の仕様 両面アクリル系樹脂塗装/ パルプけい酸質混入セメント板 厚9mm ガルバリウム鋼板 厚0.35mm N50釘				 <p>施工仕様①直張り大壁工法 一般壁部</p>																	
	耐震補強性能 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(要素)壁基準耐力 (kN/m)</th> <th>要素壁基準剛性 (kN/rad/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>5.9</td> <td>1520</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>5.6</td> <td>1190</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>7.9</td> <td>1600</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>6.8</td> <td>1390</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>3.8</td> <td>840</td> </tr> </tbody> </table>									(要素)壁基準耐力 (kN/m)	要素壁基準剛性 (kN/rad/m)	①	5.9	1520	②	5.6	1190	③	7.9	1600	④	6.8
		(要素)壁基準耐力 (kN/m)	要素壁基準剛性 (kN/rad/m)																			
	①	5.9	1520																			
	②	5.6	1190																			
	③	7.9	1600																			
	④	6.8	1390																			
	⑤	3.8	840																			
	設計方法 ①柱接合部による低減 取付け部分が健全であること ②劣化による低減 取付け部分が健全であること				○下地組 全ての施工仕様に3種類の下地構成がある。 【間柱あり】:新築同様の下地組 【間柱あり 添え柱】:既存間柱に添え柱を抱かせて継手間柱とした下地組 【間柱なし】土壁等間柱が無い場合の下地組																	
施工者指定 設計施工技術者研修会受講者又は施工指導を受けた者																						
その他 精密診断法1による評価が可能																						

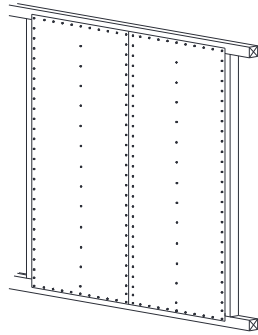
別紙:(要素)壁基準剛性・要素壁基準剛性 一覧

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2028年3月31日	評価番号	W-015c
評価技術名称					連絡先			
ニチハ耐震改修面材「あんしん」かべ強化					ニチハ株式会社 お客様相談室 http://www.nichiha.co.jp			
					〒460-8610 名古屋市中区錦二丁目18番19号			
					電話 052-220-5125		Fax 052-220-5157	

(要素)壁基準剛性・要素壁基準剛性 一覧

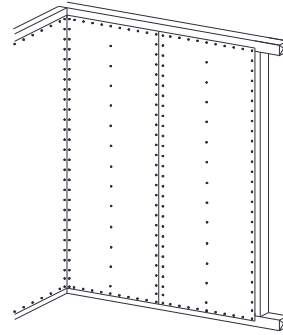
多種の仕様があり、評価シートに記載しきれない場合に記載する

①一般壁部



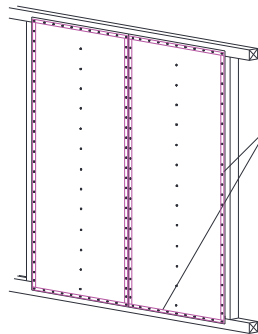
(要素)壁基準耐力: 5.9kN/m
要素壁基準剛性: 1520 kN/rad/m

②隅壁部



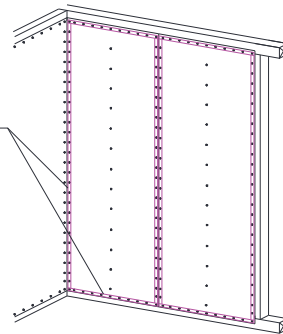
(要素)壁基準耐力: 5.6kN/m
要素壁基準剛性: 1190kN/rad/m

③一般壁部【高倍率仕様】



(要素)壁基準耐力: 7.9kN/m
要素壁基準剛性: 1600kN/rad/m

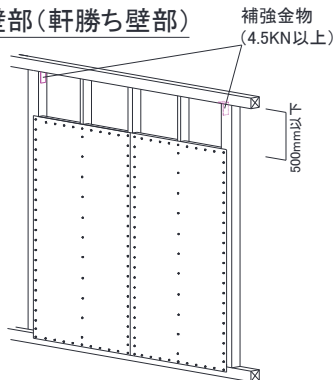
④隅壁部【高倍率仕様】



(要素)壁基準耐力: 6.8kN/m
要素壁基準剛性: 1390kN/rad/m

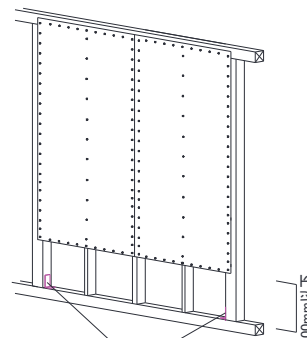
仕
様

⑤-a開口壁部(軒勝ち壁部)



(要素)壁基準耐力: 3.8kN/m
要素壁基準剛性: 840kN/rad/m

⑤-b開口壁部(屋根勝ち壁部)



補強金物
(4.5kN以上)

壁長が2Pの場合、両端の柱の仕口を4.5kN以上の耐力がある金物によって補強する必要があります。
※1Pの場合は必要ありません。